

2 話し合い活動を取り入れた 情報モラルの学習プラン

この章では、話し合い活動を通して自己理解を深める5つの学習プランを示しました。平成17年3月発行の「ネット社会における安全指導資料」においても同様の指導法を示しましたが、本資料では、短時間で、より手軽に取り組みうる学習プランとしました。「3 資料」の「話し合い活動を通じた情報モラル指導の考え方」を参考に、時間配分等は各学校の実情に合わせて指導してください。

活用の仕方

この資料は、話し合い活動を通して情報モラルの育成を図る資料です。

道徳、特別活動、総合的な学習の時間などで、

児童生徒に自分たちの考えを話し合わせることによって、情報モラルについて自分たちで考えていく力を育ててください。



ネット社会のルールやマナーを理解した上で、実際に行動できる態度を育成することが大切です。

本冊子に掲載してあるワークシートは、栃木県総合教育センターのホームページからダウンロードできます。学校の実情に合わせて加工してお使いください。

学習プラン1 「私のネット利用」

今から隣の人と2人組になって、「普段、携帯電話やメール、インターネットなどをどのくらい利用しているのか」、「何を利用しているのか」について、5分間で相手に分かるように説明してみましょう。説明する人は、なるべく隠さずに正直に話してみましょう。

説明を聴く方は、メモを取りながら聴くようにします。

2人とも説明が終わったら、相手の利用状況について、メモを元に記録用紙に記入します。

記入が終わったら、記録した内容に間違いがないかどうか確認し合い、お互いのネット利用について振り返ってみましょう。



ねらい

インターネットや携帯電話の利用法について話し合わせることによって、相手の気持ちや考え方を理解させる。

活動形態

座席の前後、隣同士の2人組、または、3人組を作り人数を調整

準備するもの

筆記用具
記録用紙（簡単なメモ用紙）



指導展開例

学習活動	時間	指導上の留意点
「私のネット利用」の活動の流れを示す。	5分	活動の趣旨を理解させる。
お互いのネット利用について説明する。	10分	2人組の場合は5分ずつ、3人組の場合は3分ずつ説明する様に伝える。 聴く側は、適宜メモを取るように伝える。
記録用紙を元にお互いのネット利用状況について確認する。	10分	お互いの利用状況について確認することでそれぞれのネット利用について振り返らせる。